

祝 卒業おめでとう 祝 御卒業 おめでとうございます

卒業式

令和6年度

自動車整備科	54名	卒業生 計 141名
自動車整備留学生科	34名	
一級自動車研究開発学科	53名	



高倉理事長 祝辞

3月12日(水)、大阪狭山市「SAYAKAホール」にて、令和6年度卒業式を執り行いました。式では卒業証書の授与に続き、在学中の様々な取り組みの成果に対しての各種表彰状の授与が行われました。五月女校長からはお祝いの言葉と共に、社会人として第一歩を踏み出すにあたっての心構えと、学園生活で培った技術・知識を基盤に信頼される技術者として社会に貢献して欲しいとの期待が伝えられました。また、高倉理事長からは社会人として悩んだ時、Hondaの基本理念である三つの喜びを思い出し、この先さらに変化していく自動車産業の先頭を進むにあたり、変化を自ら体感し新しい道を切り拓き、自動車産業の発展に寄与してほしい、と伝えられました。

祝電披露の際には、Hondaのレーシングドライバー/ライダー/スポーツアンバサダーの方々からのビデオレターが届けられました。その後、在校生を代表して一級自動車研究開発学科の水野 唯志さんが送辞を、卒業生を代表して自動車整備科の向井 太洋さんが今までの感謝とこれからの社会人としての夢を答辞として述べ、式は締めくくられました。保護者の方も多数ご参列いただき、お子様の成長した姿を見ていただけました。

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。



表彰の様子 山口 雄太さん



表彰の様子 富田 拓希さん



表彰の様子 大場 晶裕さん



五月女校長 式辞



向井 太洋さん 答辞



水野 唯志さん 送辞



式典の様子

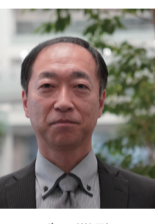


表彰者紹介

中務力賞 自動車整備科 2年1組 池田 玲 自動車整備科 2年2組 本田 陽大 自動車整備留学生科 3年1組 ケーシーロサン 自動車整備留学生科 3年2組 ジアハン 一級自動車研究開発学科 4年1組 辻口 颯 一級自動車研究開発学科 4年2組 坂藤 悠斗 一級自動車研究開発学科 4年3組 筒井 悠平 一級自動車研究開発学科 4年3組 弓削 朋宏	中務勲賞 一級自動車研究開発学科 4年2組 飯野 晃希	中本学園 校長賞 一級自動車研究開発学科 4年2組 山本 悠太 一級自動車研究開発学科 4年3組 富田 拓希	中本学園 副校長賞 一級自動車研究開発学科 4年1組 神田 優希 一級自動車研究開発学科 4年1組 門田 瑞生	中本学園 専修学校各専修学校連合会 理事長賞 自動車整備科 2年1組 大浦 悠真 自動車整備科 2年2組 爲房 利空 自動車整備留学生科 3年1組 グエン タンロン 一級自動車研究開発学科 4年1組 奥村 友哉	中本学園 専修学校連合会 会長賞 一級自動車研究開発学科 4年1組 川上 颯 一級自動車研究開発学科 2年1組 中村 颯	全日本自動車整備振興会連合会 会長賞 自動車整備留学生科 3年2組 カオ デインジャン	大阪府知事賞 自動車整備科 2年2組 山口 雄太	一級自動車研究開発学科 4年3組 山本 悠太
--	---------------------------------------	---	--	--	---	---	------------------------------------	----------------------------------

校長就任の挨拶

新校長 海沼 弘樹



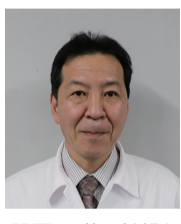
私はホンダ学園関東校の出身で、1991年4月にHondaへ入社しました。当時は初代NSXやビートの発売、F1ではセナの大活躍という時代で、私はテクニカルセンター(現サービス技術センター)に配属され、販売会社のサービススタッフの皆さんと共に「お客様迷惑の最小化」に向けた市場品質改善活動を行ってきました。その頃はアナログの機械式から電子制御化が進んだ時期でもあり、外部診断機を用いた高度診断修理が求められる時代の始まりでした。サービス業務はお客様がご不満を感じ、ご迷惑をお掛けしたタイミングから始まる仕事であり、マイナスからのスタートです。創業者の本田 宗一郎の言葉にもあるように、「お客様の心も修理する」という気持ちで原因探求と的確な処置を心掛け、難問修理に携わってきたことが思い出されます。

現在、自動車業界は100年に一度と言われる大変革期を迎えており、電動化とともに自動化、知能化が加速しています。これにより、研究開発現場はもとより販売会社のサービス現場においても、これまでにない新たな対応スキルが求められる時代に突入しています。

今回、関西校の校長を拝命するにあたり、ホンダ学園の創設者の志を守り、チャレンジ精神に溢れ、人に愛され信頼される、新たな時代に求められる整備士や技術者を輩出することを使命とし、メーカー校としての強みを活かした人材育成に邁進していく所存ですので、今後も皆様のご理解とご協力を何卒お願い申し上げます。

校長退任の挨拶

前校長 五月女 浩



学生とご家族の皆様、ご支援いただいている企業の皆様、教職員の皆様を支えていただき、関西校校長としての8年間の任期を全うすることができました。全ての方に感謝申し上げます。

自動車の技術は環境・安全・情報をキーとして急速に進化し、エンジニアを目指す学生に求められる技術・知識も変化しています。それに対してHondaのメーカー校として設備・教材・カリキュラムを進化させ、学ぶ環境を整えてきました。また、留学生専用の学科を他校に先駆けて設置し、夢と希望をもって世界中から集まる方々に学んでいただけるようにもなりました。そして、世界を震撼させた感染症との闘いを乗り越えられたのは、関西校で学ぶ全員が夢を失わず、他者を思い、自らの責任と義務をしっかりと果たした成果であると振り返っています。

関西校で多くの学生と出会い、卒業後の実社会でのご活躍を伺うたびに、本田 宗一郎初代校長の残した「技術者である前に、立派な人格者であれ」という「人づくり教育」は「人として幸せになるための唯一の方法である」という実感を強めています。4月からは、ホンダ学園の法人本部にて、学校の運営を補佐する仕事をさせていただきます。これからも教職員と共に、自動車業界の将来を担う学生とそれを支える皆様の期待に応える教育を提供できるよう取り組んで参ります。関西校での楽しく充実した日々、本当にありがとうございました。

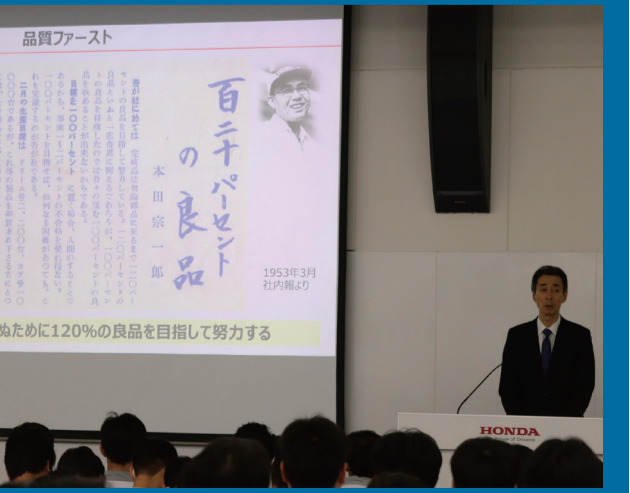
TOP SEMINAR

存在を期待される企業であり続けるために



12月17日(火)、本田技研工業株式会社 取締役 代表執行役副社長 貝原 典也さんをお招きし「存在を期待される企業であり続けるために」をテーマにご講演いただきました。

Hondaの現役の経営者から話を聞くことができる貴重な機会ということで、学生は熱心に耳を傾けていました。世界市場・コンプライアンス/プライバシー・Hondaの原点・未来に向けて・期待することと学生にとって今まさに聞きたいことばかりの内容となっており、質疑応答にも真摯にお答えいただきました。



日々の学内生活と課外授業から多くを学び、希望の未来を築きます

安全運転講習



12月初旬、自動車整備科1年生/自動車整備留学生科2年生/一級自動車研究開発学科1年生が三重県の鈴鹿サーキット内にある「交通教育センター」で、バイク・クルマの安全運転講習を受講しました。ホンダ学園の学生として、バイク・クルマの整備ができるだけでなく、模範的な運転者となるために、応急救護含む安全運転についての知識・技術をしっかりと身に付けました。



和泉自動車検査登録事務所



12月3日(火)、一級自動車研究開発学科 一級自動車整備士コース3年生が大坂運輸局の和泉自動車検査登録事務所へ見学に行きました。

検査登録事務所の役割は、自動車を検査し登録することにより、自動車の安全確保・公害防止を図るとともに、個々の自動車の所有及び使用の実態を制度的に把握することです。自動車を安全に安心して乗り続けるため、また、誰もが安心して生活できる車社会を維持していくためにとっても重要な仕事です。

改めて、「安全と環境を守り持続可能な車社会に貢献していく」ことの責任を認識した機会となりました。



滋賀県の事業所・工場見学



1月23日(木)、一級自動車研究開発学科 自動車研究開発コース3年生が、滋賀県の企業2社の事業所・工場見学に行きました。

1社目は自動車の“走る・曲がる・止まる”の根幹を担う重要保安部品などの製品を提供している三桜工業株式会社様の滋賀事業所へ、2社目は米原にある複合素材製品メーカーの東レ・カーボンマジック株式会社様にお伺いし、会社説明や工場見学をさせていただきました。



HDS授業



11月14日・15日の2日間、一級自動車研究開発学科 一級自動車整備士コース4年生を対象にHondaより講師をお招きし、HDS(※)の授業を行いました。

授業では実際に故障を仕込み、その発生源を究明する診断をチームで実施。診断チャートをどう並べ替えれば効率的に、かつ網羅的に故障箇所にとどり着けるのかを深く考えました。

検討した診断チャートに従い、HDSによる診断やデータ解析を、実際に行うことで、故障診断技術の向上をはかりました。



※HDS: Honda Diagnostic Systemの略称で、電子制御システムの故障診断に用いられます。

賛助会 企業セミナー



11月7日(木)、8日(金)の二日間で、就職活動対象の学生が様々な企業様の話を聞ける賛助会セミナー(人事担当者様から会社の概要・仕事内容・給与・福利厚生・研修環境等の説明)を実施しました。自分の活躍したい仕事(職場・職種・企業等)を決めるためにも非常に大切なセミナーです。学生は企業様の話に真剣に耳を傾け、質問やメモを積極的に取っていました。



実習車入庫



Hondaの新型電気自動車「N-VAN e:(エヌパンイー)」が新しく実習車として入庫しました。最新型の車や魅力のある車を教材として導入することは実践的な学習環境を整えるために非常に重要です。入庫した実習車は早速、実習授業で活用しています。

教職員人事異動のご案内

新任

8月	吉原 大輔	一級自動車研究開発学科	(Honda 統合地域本部 日本統括部)
9月	中西 佑介	自動車整備科	(Honda 電動事業開発本部 BEV 開発センター)
9月	加藤 忠	自動車整備科	(入社)
11月	杉本 光啓	学務室	(Honda 品質改革本部)
2月	金城 利樹	一級自動車研究開発学科	(Honda 四輪事業本部 四輪開発センター)
2月	堀川 仁志	一級自動車研究開発学科	(Honda 電動事業開発本部 SDV 統括部先進ソリューション部)
2月	近藤 隆裕	一級自動車研究開発学科	(Honda 本田技術研究所 統括機能センター試作室)

異動

2月	永澤 俊夫	Honda 品質改革本部	(学務室)
----	-------	--------------	-------

Welcome!

2025年2月

永澤 俊夫 学務室 ▶ Honda 品質改革本部



2020年6月に赴任した際、コロナ禍で活動が制限され、リモート授業環境の整備に苦労しました。設備担当として新たな役割を担い、関連資格を取得し知識を広げ、消防署や保健所からアドバイスを受けて、楽しみながら対応することができました。また、大型二種免許を取得しスクールバスを運転することで、学生とのコミュニケーションを図ることができたことを嬉しく思っています。

2025年2月からは、Hondaの品質保証部へ帰任することになりますが、卒業生が自動車や新たなモビリティ製品の品質保証に関わる際は、全力でサポートすることを誓います。

※()は異動前所属名称